

70th ANNIVERSARY

創立70周年記念誌

Junior Chamber International Japan
一般社団法人 苫小牧青年会議所



Take Action!!

～ココロオドル未来へ～

一般社団法人 苫小牧青年会議所

J C I Creed

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
and That service to humanity is the best work of life

我々はかく信じる

真理は人生に意義と目的を与え

人類の同胞愛は国家による統治を超越し

公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ

政府には人治ではなく法治が必要であり

人間の個性はこの世の至宝であり

人類への奉仕が人生最大の使命である

J C I Mission

To provide leadership development opportunities that
empower young people to create positive change.

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

J C I Vision

To be the foremost global network of young leaders.

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

J C 宣言

日本の青年会議所は

希望をもたらす変革の起点として

輝く個性が調和する未来を描き

社会の課題を解決することで

持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

われわれ JAYCEE は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうする者、相集い、力を合わせ

青年としての英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう

70th ANNIVERSARY

創立70周年記念誌

Junior Chamber International Japan

一般社団法人 苫小牧青年会議所

【創立】1953/12/16 【認証番号】59

一般社団法人 苫小牧青年会議所

創立 70 周年記念式典 式次第

開催日時 令和 5 年 6 月 3 日 13:00～

場 所 苫小牧市文化会館 1 階ホール

- 一、黙祷 (過去 5 年にご逝去された OB のご紹介)
- 一、開会宣言 創立 70 周年実行委員会 総務部会 部会長 一 関 章 太
- 一、国歌斉唱
- 一、JC ソング斉唱
- 一、JCI Creed 唱和 副理事長 保 坂 俊 也
- 一、JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和 副理事長 角 大 祐
- 一、JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 副理事長 向 井 友 一
- 一、ご来賓・OB 会員・来訪 JC 紹介
- 一、理事長式辞 理事長 玉 川 健 吾
- 一、祝辞 北海道知事 鈴 木 直 道 様
- 一、祝辞 苫小牧市長 岩 倉 博 文 様
- 一、祝辞 苫小牧商工会議所 会頭 宮 本 知 治 様
- 一、祝辞 公益社団法人 日本青年会議所 2023 年 度顧問 梶 原 一 生 君
- 一、祝電披露
- 一、活動報告
- 一、スポンサー JC 感謝状贈呈 一般社団法人 札幌青年会議所
- 一、スポンサー JC 理事長挨拶 一般社団法人 札幌青年会議所 理事長 井 口 優 君
- 一、姉妹 JC 感謝状贈呈 一般社団法人 八王子青年会議所
- 一、姉妹 JC 理事長挨拶 一般社団法人 八王子青年会議所 理事長 佐 藤 武 司 君
- 一、姉妹 JC 感謝状贈呈 一般社団法人 八戸青年会議所
- 一、姉妹 JC 理事長挨拶 一般社団法人 八戸青年会議所 理事長 坂 本 俊 也 君
- 一、歴代理事長紹介
- 一、ココロオドル苫小牧宣言 創立 70 周年実行委員会 実行委員長 大 西 奏 介
- 一、閉会宣言 創立 70 周年実行委員会 式典部会 部会長 三 津 橋 秀 樹

一般社団法人 苫小牧青年会議所

創立 70 周年記念懇親会 式次第

開催日時 令和 5 年 6 月 3 日 18:00 ～

場 所 グランドホテルニュー王子 3 階

グランドホール 北・南

- | | | |
|--------------|--------------------------------------|-----------|
| 一、開会宣言 | 創立 70 周年実行委員会 懇親部会 部会長 | 湊 崇 |
| 一、理事長挨拶 | 理事長 | 玉川 健 吾 |
| 一、来賓挨拶 | 衆議院議員 | 堀 井 学 様 |
| 一、来賓挨拶 | 衆議院議員 | 山 岡 達 丸 様 |
| 一、来賓挨拶 | 公益社団法人 日本青年会議所
2023 年度北海道地区協議会 会長 | 岩 田 幸 治 君 |
| 一、祝杯 | 苫小牧青年会議所 OB 会 会長 | 木 村 司 様 |
| 一、祝宴 | | |
| 一、記念事業 PR | 創立 70 周年実行委員会 事業担当
副実行委員長 | 角 大 祐 |
| 一、各地青年会議所 PR | | |
| 一、締めの挨拶 | 直前理事長 | 大 津 山 泰 斗 |

創立 70 周年を迎えて

苫小牧青年会議所が創立70周年を迎えるにあたり、創始より今日に至るまで、明るい豊かな社会の創造のためにご尽力され、会の歴史を紡いでこられてきた先輩諸兄姉の皆様、また日頃よりご支援、ご協力をいただいている苫小牧市を始めとします関係諸団体、さらには、志を同じくする各地会員会議所の皆様との厚い友情に心より御礼申し上げます。

苫小牧青年会議所は、1953年12月志高い26名の青年が集い、札幌青年会議所様のスポンサーにより全国で59番目の青年会議所として誕生し、より良い地域のために夢と希望を抱き、青年が次代を創っていくという確固たる信念と情熱をもって運動を起こされ、多くの功績とともに会の歴史を紡いでこられました。こうした運動の積み重ねが、私たちのまち苫小牧市に与えた影響は大きく、現役会員の誇りと今日の礎となっています。

創立から半世紀以上経過した今日では、人口減少、不透明な経済、地域力の低下等、多くの社会課題が山積みであります。こうしたなか、地域の未来をどのように明るくものにしていくのか、私たちと市民と行政、関係諸団体がこのまちのありたき姿である「まちのビジョン」に向かって手を携えて行動する他なりません。社会情勢の変化が激しい現代だからこそ、まちの進むべきビジョンに共感する多くのパートナーと連携し行動してまいります。

結びに、地域に青年会議所があることがどれほど尊いのか、私たちはこの70年の歴史を振り返り、先人や先輩諸兄姉に感謝し、未来に大きな夢と希望を描き、運動を起こしてまいります。いつの時代も、青年の勇氣と情熱を携えた行動こそ次の時代を創ってきました。私たちは、社会的使命を自覚したJAYCEEとして、誰もが希望をもって住み暮らすまち「ココロオドル未来」の創造に向け、精一杯運動することをお誓いするとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。御礼の挨拶とさせていただきます。



苦小牧青年会議所OB会 会長

ご挨拶

本年、一般社団法人苦小牧青年会議所が創立 70 周年を迎えられましたことに対し、OB 会を代表し心よりお祝い申し上げます。

苦小牧青年会議所は、昭和 28 年に全国で 59 番目の青年会議所として設立されました。以来、青年としての英知と勇気と情熱をもって「明るい豊かな社会」の実現を目指し日々活動し、地域発展に尽力されてこられた諸先輩諸兄、現役会員に敬意を表するところです。また、長きにわたって暖かく支えていただきました市民の皆様をはじめ、関係各位のご厚情に深く感謝申し上げます。

世界は大きな転換期を迎えています。地球環境の悪化、大国による現状変更への試み、それに伴う新しい東西の対立。我が国を振り返っても、急激な少子高齢化の進展、エネルギー価格の上昇等に伴う物価の高騰。等々、問題が山積しております。そんな時代だからこそ、次代の街の担い手たる、青年会議所メンバーの発想と行動力で新しい時代の扉を開くことを期待するところです。

結びに、一般社団法人苦小牧青年会議所の今後益々の発展と、会員の皆様の更なるご活躍を心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



一般社団法人 苦小牧青年会議所

創立70周年実行委員会 実行委員長

ご挨拶

苦小牧青年会議所が創立 70 周年を迎え、そして今日もなお青年会議所として活動と運動を行えること、さらに今後も未来へ向けて夢を持ち挑戦へ進めるのは、他がため、地域のための精神を継続し歴史を積重ねてこられた、総勢 600 名を超える先輩諸兄姉の皆様が苦小牧市と関係諸団体の皆様、さらには、志を同じくする各地会員会議所の皆様と共に明るい豊かな社会の創造のためにご尽力されてきたからこそでございます。これまでの歴史と伝統の本当の重みを知ると同時に、その苦小牧青年会議所の一員であることの自覚と責任を持つこと、この節目に運命的に集えた会員で敬意を感謝としてお伝えできる機会をいただけたことに誇りを感じております。これまでの信用を信頼とし、誇りを胸に、夢と希望と笑顔あふれる「ココロオドル苦小牧」の実現へ向け猛進してまいります。今後も皆様の変わらぬご支援とご協力をお願いを申し上げ、創立 70 周年の挨拶とさせていただきます。

大西 奏介



苫小牧市長

岩倉 博文

創立 70周年を記念して

一般社団法人苫小牧青年会議所が、記念すべき創立 70 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴青年会議所におかれましては、昭和 28 年に設立されて以来、苫小牧を明るく元気なまちにするためのイベントや社会問題の解決への取組など様々な活動を行い、市政の発展に多大な貢献をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。また、活気に満ち、笑顔が溢れ、誰もが希望を持てるまちをつくりあげるため、歴代の理事長をはじめ、多くの会員の皆様のたゆまぬ御努力に対し、深く敬意を表する次第です。

我が国は本格的な人口減少時代を迎え、地方自治体の行政運営を取り巻く環境は厳しさを増しています。苫小牧も例外ではなく、工夫を重ねながら、持続可能なまちづくりに取り組んでいかなければなりません。本市では、港湾と空港のダブルポートを擁するという立地の良さを生かし、“ものづくり産業のさらなる展開”、“臨海ゾーンにおけるロジスティクスの展開”、“臨空ゾーンにおける国際リゾートの展開”の 3 つの成長戦略により、将来を見据えてもっとたくましい苫小牧を目指し、チャレンジを続けているところです。また、令和 3 年には“ゼロカーボンシティへの挑戦”を宣言しており、今年度から 2 か年に渡って“CO2 CO2（コツコツ）いこう♪次世代のために”をスローガンに「ゼロカーボン × ゼロごみ大作戦！」を展開してまいります。

今後も貴青年会議所の皆様と連携をしながら、苫小牧市が理想の都市として掲げる人間環境都市の実現に向けて邁進していく所存ですので、引き続き、地域を牽引する若きリーダーとして御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人苫小牧青年会議所のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



苫小牧商工会議所 会頭 宮本 知治

創立70周年記念祝辞

この度は、苫小牧青年会議所が設立 70 年を迎えられましたこと、心からお祝いを申し上げます。また貴所の多くの業績と輝かしい歴史を後世に伝えるため、記念誌を発刊されることは誠に意義深く、慶賀にたえません。

苫小牧青年会議所は、昭和 28 年、まだ戦後の混乱期にあり傷も十分に癒えていない、そんな中において設立されました。以後苫小牧の発展とともに苫小牧青年会議所は歩まれ、会員の資質の向上と地域経済への貢献を目的に、会員相互の啓発に努めながら、地域に深く結びついた活動を今日までされてこられた事と思います。これもひとえに、歴代の理事長並びに役職員、会員の皆様の並々な熱意とご努力の賜物であり、深く敬意を表します。

現在この苫小牧地域は、北海道を代表する国際港湾を有し、国際空港と隣接する、北海道を代表する工業・物流都市となりました。近年においても苫東地域への企業進出は続き、太陽光発電やバイオマス発電などの立地も進み、既立地企業においても、カーボンニュートラルへの取組などが進んでいます。70年前には苫小牧がこのような都市になっているとは、だれが想像できましたでしょうか。これも歴代の先輩達が積み上げてきた賜物だと感じるところです。

日本経済は少子高齢化による人口減少社会を迎え、コロナ禍という逆境を経験し、以前とは全く違ったものとなりました。そういった先の見通せない時代のなか、我々苫小牧商工会議所としては、苫小牧青年会議所の皆様と共に、今後とも活力ある地域の創出に取り組んで参りたいと思います。

最後に苫小牧青年会議所会員の皆様におかれましては、会員相互の交流の絆をより一層深められ、地域社会の発展にご尽力されますよう期待するとともに、この節目を契機にますますのご発展と皆様の更なるご活躍を心よりご祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。



公益社団法人 日本青年会議所
2023年度 会頭

麻 生 将 豊



創立
70
周年
記念
祝
辞

一般社団法人若小牧青年会議所の皆様、創立70周年、誠におめでとうございます。70年という長きにわたり、地域に多くの運動を生み出してこられたことに対しまして、心より敬意を表します。

本年に入り新型コロナウイルス感染症も収束傾向となり、少しずつではありますが、日常を取り戻してきています。しかしながら、不安定な世界経済が引き起こす影響や、紛争による原材料価格の高騰などの影響は大きく、社業や家族との、明るい未来への夢を描くことが難しくなったと感じる大人も多いのではないのでしょうか。しかしながら、創立より青年経済人の想いを紡いでこられた貴青年会議所の皆さまにおかれましては、諸先輩方の熱き想いを継承し、70周年という記念すべき年に、玉川健吾理事長が掲げられる『Take Action!! ～ココロオドル未来へ～』というスローガンのもと、志を高く持ち、感謝の心を忘れず、明るい豊かな社会の実現を目指し邁進されることと存じます。

日本青年会議所といたしましても、「Drive our dreams ～日本の魅力で世界を席巻しよう～」をスローガンに掲げ、全国各地で夢を描く仲間の事業をともに進め、日本の底力を世界へ発信してまいります。引き続き本会に対し、深いご理解、ご支援を賜るとともに、大いにご活用いただければ幸いです。結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに素晴らしい運動を展開されますこと、先輩諸氏、現役会員の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。

公益社団法人 日本青年会議所
北海道地区協議会
2023年度 会長

岩 田 幸 治



創立
70
周年
に
寄
せて

一般社団法人若小牧青年会議所が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、創立以来、本日に至るまでの礎を築かれてこられました諸先輩並びに、伝統と志を受け継ぎ運動を展開されております現役会員の皆様の御尽力に対しまして心より敬意を表します。

貴青年会議所は、玉川理事長のリーダーシップのもと明るい豊かな社会を創造するため、青年らしく柔軟で斬新な発想と行動力を持って、地域に根差した運動を力強く展開し、課題解決へ向けて前進されていることと存じます。

この数年間は感染症による行動規制の影響がありました。市民を笑顔にする活動として毎年恒例であった各種おまつりでのブース運営が中止になる中でも「ナイチンゲール project」と題して献血活動や「肝試し事業」を行うなど感染症に負けず市民に向けた力強い運動を展開してこられたと伺っております。官民一体となった活動をされていることから、地域に無くてはならない存在になっていることと存じます。これからも地域へ大きなインパクトを与えるアクションを起こされることを心より願っております。

結びに、貴青年会議所の益々のご発展と、これまでご高配をいただきました先輩諸氏、関係各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立 70 年の歩み

1953-2023



1953～1958 昭和 28～33年

初代～第6代理事長 先田 秀雄

1953 —

【副理事長】
岩倉賢周
藤田俊介

1954 —

【副理事長】
岩倉賢周
藤田俊介

1955 —

【副理事長】
岩倉賢周
朝倉治郎

1956 —

【副理事長】
岩倉賢周
朝倉治郎

1957 —

【副理事長】
岩倉賢周
朝倉治郎

1958 —

【副理事長】
岩倉賢周
朝倉治郎

1953 昭和 28 年

■この年の苦小牧青年会議所

昭和 28 年 12 月 16 日に創立。

苦小牧 JC 誕生の、第一歩を踏み出した記念すべき年。札幌 JC の、スポンサーを受け発足。当時札幌 JC のメンバーだった熊本恵見君が、尽力してできたものである。日本で 59 番目の JC として日本 JC に加入承認された。市内の商店や事業所などメンバーを募り会員数 26 名のスタートとなった。

■この年の日本の出来事

- ・バカヤロー解散
- ・街頭テレビが人気
- ・米隊、チョモランマ初登頂
- ・カンボジア、仏から独立
- ・苦小牧市開基 80 周年、市政 5 周年

1954 昭和 29 年

■この年の苦小牧青年会議所

初代理事長 先田秀雄君が引き続き 2 代理事長を務め、JC とはとメンバーと模索する中、社会奉仕が第一の事業と町の発展に貢献した。

また、産業経済に関する調査研究や改善、発達に関することなども事業に上げた。

■この年の日本の出来事

- ・第 5 福竜丸水爆実験被災
- ・自衛隊発足
- ・青函連絡船洞爺丸沈没。1,155 人が犠牲
- ・周恩来・ネルー平和 5 原則声明
- ・アルジェリア独立戦争開始
- ・天皇両陛下、苦小牧市をご訪問

1955 昭和 30 年

■この年の苦小牧青年会議所

苦小牧 JC 設立 3 年目、スポンサーとして室蘭 JC 設立に協力した。次第に増える仲間との友情に、深い絆とやりがいを感じ始めていた。この年に、実地した奨学資金贈呈の事業は、社会的に認められた、画期的な思い出深い事業の一つである。

■この年の日本の出来事

- ・神武景気始まる
- ・電気釜発売（家庭電化時代始まる）
- ・ワルシャワ条約調印
- ・ジュネーブで 4 国巨頭会議

1956 昭和 31 年

■この年の苦小牧青年会議所

苦小牧市において北海道地区会員大会を開催した。

北海道内外から 120 名の参加となり、メンバー間の親睦が行われた。発足後、最も大きな事業となり、情熱をもって活発にメンバーは、この大会を成功へ導いた。

■この年の日本の出来事

- ・日ソ国交回復共同宣言調印
- ・日本、国連加盟
- ・ハンガリー動乱
- ・第 2 次中東戦争
- ・第一回港まつり開催
- ・苦小牧地区、一般テレビ放送開始

1957 昭和 32 年

■この年の苦小牧青年会議所

日本 JC が飛躍的に発展した年。

会員数が増える中、事業の活動に充実感を感じていた。この年に苦小牧市営球場で行なわれた、道南地区 JC 野球大会において見事、苦小牧 JC が優勝の栄冠に輝いた。

■この年の日本の出来事

- ・岸首相、戦後初のアジア歴訪
- ・昭和基地設営
- ・EEC 条約に調印
- ・人工衛星スプートニク 1 号打上げ成功

1958 昭和 33 年

■この年の苦小牧青年会議所

6 年間の苦小牧 JC をまとめあげた、先田秀雄理事長の集大成の年。急速に進む経済の発展に、苦小牧 JC の志をまとめあげ豊かな町づくりに全力を注いだ。

■この年の日本の出来事

- ・アラビア石油設立
- ・東京タワー完工式（高さ 333 メートル）
- ・長島茂雄（巨人軍）新人賞
- ・人民公社建設運動全国化
- ・第 1 回アジア・アフリカ会議
- ・皇太子殿下が苦小牧市をご訪問

 第7代理事長 朝倉 治郎	1959 昭和34年 役員 副理事長 加藤 悟 中嶋 義隆	この年の 苦小牧青年会議所 この年は、「へき地教育振興ガーデンパーティー」、「へき地教育振興運動（実施対象校日高と豊糠小学校）」といった、当時から問題となっていたへき地についての取り組みを行った年であった。 また、「苦小牧工業港の将来について」の論文を募集など、開港間もない苦小牧港についていろいろと考えていた時期であった。	この年の日本の出来事 ・1月1日 キューバ革命 ・皇太子殿下（現天皇陛下）御結婚 ・安保闘争本格化 ・苦小牧工業高校 第31回全国高校選抜野球大会に出場。また、第41回全国野球大会に出場
 第8代理事長 加藤 悟	1960 昭和35年 役員 副理事長 福原 周一 成田 繁	この年の 苦小牧青年会議所 この年は、第1回JCセミナーが開催され各方面からの講師を招き、メンバー一人が自己の向上に励みました（於 登別グランドホテル）。 また、「社会の谷間写真展」など、当時の問題となっていた「へき地」についての取り組みが行われた。	この年の日本の出来事 ・「アフリカの年」17カ国が独立 ・新日米安全保障条約 ・世界初の掘込み式港湾となる「苦小牧港」の内陸掘込み開始 ・苦小牧埠頭株式会社が設立される
 第9代理事長 成田 繁	1961 昭和36年 役員 副理事長 中村 光雄 蔵本 武治	この年の 苦小牧青年会議所 JCHANDブックをこの年初めて作成。 就職中学生激励大会開催、交通道德高揚運動、特殊学級生徒をウトナイへ招待など、ボランティア活動が活発な年であった。 このほか、歳末助け合い基金のためのカクテルパーティー、母子家庭・養老院招待クリスマスパーティーなども精力的に行われた。	この年の日本の出来事 ・アメリカ合衆国大統領に J.F. ケネディ氏 就任 ・消費者物価指数が高まる ・苦小牧駅が特急停車駅となる ・天皇皇后両陛下 苦小牧港などを視察
 第10代理事長 蔵本 武治	1962 昭和37年 役員 副理事長 長野 一雄 荒木 潤司	この年の 苦小牧青年会議所 創立10周年を迎え、記念式典を行った（於 ウトナイ観光ホテル）。 また、社会啓蒙活動を広く行い、国旗掲揚運動が行われ、全市パレードを行った。 さらには、この時代に於けるリーダーシップ・トレーニングの一環として自衛隊一日入隊を行った。	この年の日本の出来事 ・キューバ危機 ・日本総無責任時代 戦後の混乱から次第に脱却した日本の社会をあらわした ・苦小牧市が「安全都市」宣言 ・苦小牧港築設に伴う国鉄日高線の切替線運行開始
 第11代理事長 長野 一雄	1963 昭和38年 役員 副理事長 荒木 潤司 清水 沖啓	この年の 苦小牧青年会議所 この年は、前年度の苦小牧青年会議所創立10周年記念式典と合わせ、座談会などの記念行事が行われた（於 ホテルトマコマイ）。 また、室蘭青年会議所との合同家族会を開くなど、積極的交流が見られる年であった。	この年の日本の出来事 ・東海道新幹線 時速250キロメートルの世界新記録 ・吉展ちゃん誘拐事件 ・伊藤博文の新千円札発行 ・ケネディ米大統領暗殺される ・苦小牧港が重要港湾の指定を受ける ・第二代苦小牧市長に大泉源郎氏 ・苦小牧港開港



第12代理事長
荒木 潤司

1964
昭和39年

役員

副理事長 木村寿治郎
伊藤 矯二

■この年の苦小牧青年会議所

ジュニアアイスホッケー大会の開催の他、教育座談会・市長を囲む座談会、苦小牧開発討論会など、対外的なイベント、そして視野を広げるイベントが多く開催された年であった。

また、困窮家族クリスマスパーティーや養老院餅つき奉仕など、積極的奉仕活動も多く行われた年であった。

■この年の日本の出来事

- ・マッカーサー元師死去 84歳
- ・新潟地方に大地震 石油タンクが炎上 付近の民家 353 棟類焼
- ・東海道新幹線 営業運転を始める
- ・第18回オリンピック東京大会開幕
- ・国立苦小牧工業高等専門学校開校
- ・苦小牧港が出入国港に指定



第13代理事長
木村 寿治郎

1965
昭和40年

役員

副理事長 伊藤 矯二
須貝 泰嗣

■この年の苦小牧青年会議所

この年は、木材部会全国会員大会が苦小牧の地で開かれ、全国から大勢の人々を迎え盛大に開催されました。

また、室蘭JCと千歳JCとの間で合同家族レクリエーションを開くなど、活発な活動を繰り広げた年でした。

■この年の日本の出来事

- ・北海道炭鉱汽船夕張鉱業所でガス爆発 61人死亡 17人負傷
- ・新南極観測船の船名が「ふじ」と決まり、18日進水 同年出港
- ・日産自動車とプリンス自動車が合併に調印
- ・苦小牧東高校 甲子園で準々決勝へ
- ・苦小牧駒澤短期大学 開学



第14代理事長
蔵本 昌明

1966
昭和41年

役員

副理事長 八若 博明
宮田 軍一

■この年の苦小牧青年会議所

政治、経済、大きな社会問題にアプローチしつつあった日本JCと、奉仕中心であったローカルJCの活動とのギャップを縮めるための活動をした一年でした。

また、当時起きた「黒い霧」事件をうけて、経済人との交流を行うなど、市民社会意識を考える一年でした。

■この年の日本の出来事

- ・苦小牧市が「スポーツ都市宣言」
- ・苦小牧駅 貨物取扱量日本一
- ・国会では「黒い霧」事件
- ・ソ連の「ルナー9号・13号」月軟着陸に成功
- ・英国海外航空ボーイング 707型旅客機が富士山麓で墜落 124人全員死亡
- ・巨人軍の新人堀内恒夫投手 新人開幕 13連勝の新記録を樹立
- ・ビートルズ来日



第15代理事長
伊藤 晴蔵

1967
昭和42年

役員

副理事長 先田 穰二
中嶋 昌実

■この年の苦小牧青年会議所

イベント活動に多く参画した年でした。ザ・スパイダーズショー開催(王子スポーツセンター)のほか、今につながる第一回スケートまつり参加、そして港まつりパレード・花火に協力をはじめた。

また、大泉市長を囲んで深刻化していた交通問題を語りあった。

■この年の日本の出来事

- ・第一回スケートまつり開催・参加(王子球場横広場)
- ・日経金 苦小牧進出発表
- ・ハイランドスケートセンター開館
- ・ラニーバード2号による宇宙通信の日米開通式行われる
- ・吉田茂氏死去 戦後初の国葬
- ・小笠原諸島返還決まる
- ・ミニスカート大流行



第16代理事長
先田 穰二

1968
昭和43年

役員

副理事長 橋 浪蔵
藤井 政雄
石田 貢

■この年の苦小牧青年会議所

創立15周年を迎えたこの年は、各地域JCとの交流が盛んな年であった。

網走の全道大会、札幌の全国大会参加の他、道内各地域JCの創立記念式典の参加が続き、翌年行われた苦小牧の全道大会へむけ着々と人的交流を行っていった。

■この年の日本の出来事

- ・苦小牧東部大規模工業 基地開発計画
- ・市民会館完成
- ・東大闘争・安田講堂へ機動隊出動
- ・三億円事件
- ・北海道・東北地方に激震 死者不明50人 被害総額2百億円 「1968年十勝沖地震」と命名
- ・札幌医大和田教授が宮崎信夫君(18)に日本初の心臓移植手術 同君は10/29、83日目に死亡



第17代理事長
岩倉 光博

1969
昭和44年

役員

副理事長 川端 納
近藤 重明
三橋 信一

■この年の苦小牧青年会議所
「愛すべき郷土」、「語ろうJCの仲間」をメインテーマに活動を展開。北海道地区大会を主管し成功をおさめた。
その記念事業として市民会館広場に苦小牧の将来をシンボル化した“青年の樹”を設置した。

■この年の日本の出来事
・東大闘争で機動隊が安田講堂へ突入
・佐藤・ニクソン日米両首脳会談で沖縄の日本復帰を実現するための具体的取り決めについて協議に入る
・苦小牧市の人口が10万人を超える
・日軽金操業開始
苦小牧東部工業団地開発事業所発足
道企業局苫東基地用地の先行取得が開始
・「苦小牧おどり」「オーロラの街」が完成



第18代理事長
石田 貢

1970
昭和45年

役員

副理事長 朝倉 瑞秀
岡部 照一
金谷 守
専務理事 藤井 政雄

■この年の苦小牧青年会議所
北海道総会開発委員会にて苦小牧東部大規模工業基地開発計画を決定。
交通災害頻発都市の烙印返上のため「交通遺児育英基金制度」を提唱。
基金造成第一回チャリティーショー「五十嵐喜芳」開催。
民間主導型の都市再開発を目指す一歩として駅前再開発の意識調査活動を開始。
市民、商業界、行政と話し合いの場を持ち、次年度以降の基盤を作る。

■この年の日本の出来事
・日航よど号ハイジャック事件
・三島由紀夫が自衛隊に乱入し割腹自決
・アポロ13号打ち上げ 奇跡の生還
・日本万国博開催
・市青少年センター開館、苦小牧市教育研究所設置、苦小牧市文化振興連絡協議会発足、札幌入国管理事務所、苦小牧出張所が開所



第19代理事長
八若 博明

1971
昭和46年

役員

副理事長 石井 公悦
板谷 剛
渡辺 忠保
専務理事 古戸 寅雄

■この年の苦小牧青年会議所
「創造しよう我等の郷土を」をテーマに市内企業経営者の意識調査を実施、大企業進出に対し苦戦する地場企業の実態を認識し、新しい都市づくりの提案もおこなう。
千葉桐友学園の火災に対する救援活動の輪が苦小牧JCより広がり全国から義援金が集まる。
青年の樹完成。

■この年の日本の出来事
・ニクソン・ショックで東証ダウは前日比210円安の史上最高の暴落
その後4日間に550円続落
・ロサンゼルス大地震で数百人が死亡
・国道36号線で死亡交通事故が多発
交通事故非常事態宣言
・苦小牧港開港以来初の旅客船「ふじ」入港
・北海道審議会が「苦小牧東部大規模工業基地開発計画案」を承認



第20代理事長
佐藤 裕

1972
昭和47年

役員

副理事長 石田 巖
小玉 昌彦
松井 郁夫

■この年の苦小牧青年会議所
「人間を原点とする社会を再生するための行動を起こそう」をテーマに活動を展開。
プロジェクトチームを編成した青少年開発では日本JCの青年の船へ勤労青少年を派遣、勤労青少年との交流に多大な成果をあげた。

■この年の日本の出来事
・連合赤軍浅間山荘事件
・沖縄施政権返還
・日中国交正常化
・グアムで横井さん救出
・札幌冬期五輪開幕
・苦小牧～東京間に日本沿海フェリー就航
・苦小牧東部開発会社設立



第21代理事長
永井 高明

1973
昭和48年

役員

副理事長 松崎 徳一
脇本 徹哉
高橋 和雄

■この年の苦小牧青年会議所
苦小牧青年会議所創立20周年の記念すべき年を迎え、記念式典が開催された。
また、記念事業として苦小牧「青年の船」が企画され、志のある多くの若者が乗り込み、訪問した各地の人々との交流を深め有意義な年となった。

■この年の日本の出来事
・第四次中東戦争勃発でオイルショック始まる
・金大中拉致事件
・苦小牧市 開基100年 市制25周年 開港10周年
・苦小牧市と八王子市が姉妹都市提携
・苦小牧市「人間環境都市」宣言
・苦小牧市総合体育館落成



第22代理事長
高橋 和雄

1974
昭和49年

役員

副理事長 阿部 喜朗
松井 郁夫
古戸 寅雄

この年の苦小牧青年会議所

八王子JCとの姉妹JC締結が実現した年。

また、新設JC設立を促進していった中、当LOMがスポンサーとなり、浦河JCが誕生した。

グリーンピア開催、クリーンアップキャンペーン等の事業も行われた。

この年の日本の出来事

- ・アメリカウォーターゲート事件でニクソン大統領が辞任
- ・金脈問題で田中首相退陣表明
- ・佐藤栄作ノーベル平和賞受賞
- ・元日本兵小野田寛郎 30年ぶり救出



第23代理事長
古戸 寅雄

1975
昭和50年

役員

副理事長 板谷 剛
広島 亘
蝦名 久志
専務理事 岩崎 一彦

明るい豊かなふるさとづくり

この年の苦小牧青年会議所

第一回苦小牧・八戸チビッコアイスホッケー大会主催にはじまり、第一回JC旗争奪少年野球大会開催とスポーツ都市にふさわしい活動を行った一年でした。

一方、座禅例会の開催を行うなど、動と静双方を実践した年であった。

この年の日本の出来事

- ・サイゴン陥落 ベトナム戦争終結
- ・エリザベス英女王来日
- ・沖縄海洋博覧会開催
- ・女性世界初のエベレスト登頂に日本からの女性隊が成功
- ・日本赤軍クアラルンプールで大使館占拠
- ・山陽新幹線 岡山～博多が開業
- ・三億円事件 時効成立
- ・苦小牧フェリーターミナル供用開始



第24代理事長
板谷 剛

1976
昭和51年

役員

副理事長 神保 康夫
伊藤 正
尾野 信夫
専務理事 竹尾 昌己

心のふれあい 明日の町づくり

この年の苦小牧青年会議所

この年、苦小牧JCは社団法人格を取得、(社)苦小牧青年会議所が誕生した。

クリーンアップキャンペーン実施や交通問題の研究など、当時の深刻な社会問題に積極的に参加していった年であった。

会員開発の一環として、当時主流のLIAの実践、話し方教室の開催を行い、メンバー能力の向上を行った。

この年の日本の出来事

- ・ロッキード事件田中角栄総理大臣逮捕
- ・ソ連戦艦ミグ25亡命事件
- ・山形県酒田市で大火1059棟全焼
- ・新自由クラブ結成
- ・天皇在位50周年式典
- ・超音速旅客機コンコルド初の旅客飛行
- ・モントリオール五輪開催
- ・体操でコマネ選手10点満点続出
- ・政府が苦東着工を正式決定
- ・苦東港着工



第25代理事長
松崎 徳一

1977
昭和52年

役員

副理事長 荒城 悟男
横山 幸司
上田 宣政
専務理事 阿部 喜朗

未来をみつめて 若さで行動

この年の苦小牧青年会議所

広報誌「はすかつぶ」毎月発行を行い、活動内容を積極的に内外に知らせていった年であった。

また、セーフティーキャンペーン展開「模擬市議会」の開催など、社会問題、地域問題を考えた年であった。

当時進出が考えられていたダウケミカル社苦小牧進出に関する勉強会開催が行われたのもこの年であった。

この年の日本の出来事

- ・連合赤軍のよど号ハイジャック事件
- ・有珠山噴火 泥流発生などの大災害
- ・巨人の王貞治選手
- ・通算756号本塁打で世界新記録達成
- ・青酸コーラによる無差別殺人事件
- ・海洋二法成立
- ・12カイリ領海 200カイリ漁業水域へ
- ・苦東企業進出第一号 苦東厚真火力が着手



第26代理事長
松井 郁夫

1978
昭和53年

役員

副理事長 宮崎 英樹
大友 弘
葛森 勝征
専務理事 小林 充

創ろう 明日のふるさと 育もう ふれあいの心

この年の苦小牧青年会議所

この年は第27回北海道地区大会主管の年にあたり、その準備・運営に力が入った年となった。

また、ニュージーランド ネーピアJCと国際姉妹JC締結という、今後も続く記念すべき年となった。

この年の日本の出来事

- ・冒険家 植村直己 単独犬ソリで北極点に到達
- ・大平内閣成立
- ・江川役手 ドラフト外で巨人軍入団
- ・苦小牧港とニュージーランド ネーピア港が姉妹港を提携
- ・苦小牧保健センターがオープン



第27代理事長
荒城 悟男

1979
昭和54年

役員

副理事長 河村 義正
牧田 宏
吉本 俊憲
専務理事 岩倉 博文

語ろう Jaycee 青年の絆で築けふるさとの未来

■この年の苦小牧青年会議所
前年度のネーピア J.C. との姉妹 J.C. 締結に続き、この年は八戸 J.C. と姉妹 J.C. の締結を行った。
また白老 J.C. が誕生し、苦小牧 J.C. はスポンサー J.C. として設立に携わりました。
八王子 J.C. との交流など、対外交流が盛んな年であった。

■この年の日本の出来事
・第2次大平内閣成立
・米、中国が国交を樹立
・イラン新政権樹立
・第二次石油ショック
・背広の袖を切った 省エネルック現れる
・インベーダーゲーム流行(78～79)年
・ソ連アフガニスタン侵攻



第28代理事長
宮崎 英樹

1980
昭和55年

役員

副理事長 阿部 喜朗
小林 充
壬生 賢哉
専務理事 今川 健児

青年の英知で拓け 郷土の未来

■この年の苦小牧青年会議所
ニュージーランド協会設立(前年度)とネーピアとの交流に対し、日本 J.C. 国際活動推進部門最優秀賞を受賞した。
苦小牧と八戸のチビッコアイスホッケー大会が6回目を迎える。
また、白老ボロト湖でサマーキャンプを開催など、幅広い対外活動が多く、また評価された年であった。

■この年の日本の出来事
・大平首相急死 鈴木内閣成立
・JOC モスクワ五輪不参加決定
・東京・銀座で運転手が現金1億円を拾い本所署に届け出た
・苦小牧で第35回国体冬季大会スケート競技会開催
・苦小牧の人口15万人に
・ニュージーランド ネーピア市と姉妹都市を提携



第29代理事長
阿部 喜朗

1981
昭和56年

役員

副理事長 大津 山峻
早川 隆一
岩倉 博文
専務理事 山口 勉

鍛えよう Jaycee 見つめよう郷土

■この年の苦小牧青年会議所
この年の青年会議所は、褒賞審査に新手法を加えるなど、制度の見直し等に特に力を注いだ。
また、スローガンにもあるように、北海道という地にも関係の深い北方領土の返還運動も積極的におこなった。

■この年の日本の出来事
・日米問題の解釈問題で、伊藤正義外相が辞任
・ローマ法王ヨハネ・パウロ2世が初来日
・仏、南太平洋ムルロワ環礁で核実験再開を発表
・沖縄で島の新種ヤンバルクイナ発見
・苦小牧港が特定重要港湾に
・ウトナイ湖バードサンクチュアリにネイチャーセンター開設



第30代理事長
川田 憲秀

1982
昭和57年

役員

副理事長 両川 武弘
玉川 健仁
齊藤 仁
専務理事 佐藤 義行

深める英知 燃えあがる情熱

■この年の苦小牧青年会議所
スローガンにもある“燃え上がる情熱”のもとこの年の苦小牧 J.C. 青少年育生に関する事業を行った。
恒例になったチビッコアイスホッケー、サマーキャンプをはじめ、日本 J.C. 青年の船事業への LOM 協力など、幅広く活動した年であった。

■この年の日本の出来事
・ホテルニュージャパンで大火災発生 死者33名
・その翌日、羽田沖で日本航空 DC8 型機が墜落し24名死亡
・浦河沖地震発生 震度6を記録
・東北ノ上越新幹線開業
・フォークランド紛争勃発
・苦小牧市と日光市が姉妹都市提携
・苦小牧駅新駅舎完成
・南北の通路がつながる



第31代理事長
壬生 賢哉

1983
昭和58年

役員

副理事長 河村 義正
岩倉 圭彦
山口 勲
専務理事 小保方伸一

果敢なる挑戦 若さで創ろう郷土の未来

■この年の苦小牧青年会議所
30周年を迎える苦小牧青年会議所にとって、この年の事業は色々な人々との交流と親交を大変深めた年であった。
30周年記念式典をはじめ、当年度の日本 J.C. 会頭である榎本会頭の公式訪問例会、ネーピア J.C. の来苦など、国内外を問わない交流が行われた。

■この年の日本の出来事
・日本初の実用通信衛星「さくら2号a」が打ち上げられた
・大韓航空機撃墜事件
・インドネシアで20世紀最大規模の皆既日食観測
・苦小牧市役所新庁舎完成
・緑が丘公園庭球場が完成



第32代理事長
牧田 宏

1984
昭和59年

役員

副理事長 本間 敏彦
今成 克正
岩倉 博文
専務理事 田村 雄二

LOMに活力 郷土に愛 いま 新たな一歩

■ この年の苦小牧青年会議所
創立30周年を終え、組織内部の充実に重きを置いた年だった。
各例会の他、サマーキャンプ・公開講演会等、委員会主体となって行った事業が多々催された。
また、来る高齢化社会を元気に迎えるための一環として「3世代交流全国ゲートボール大会」が苦小牧をはじめ各地で行われた。

■ この年の日本の出来事
・サラエボ冬季五輪スピードスケート男子500mで北沢欣浩が銅メダル
・グリコ森永事件
・ロサンゼルス大会が開幕
柔道山下泰裕が金メダル
・苦小牧マラソン実施



第33代理事長
岩倉 博文

1985
昭和60年

役員

副理事長 大津 山峻
宮本 知治
不川 智詞
伊尾 茂
専務理事 大澤 隆之

示せ JAYCEE スピリット 目指そう21世紀への街づくり

■ この年の苦小牧青年会議所
21世紀まであと16年となったこの年、新世紀へ向かい新しい街作りの枠組みを築くべく「2001年プロジェクト」を掲げ活動を行った。
特に、「明るい豊かな街づくり」と「JCスピリット」の確立に重点を置き、外から見えるもの・見えにくいものに分け新事業・継続事業の再構築を行っていった。

■ この年の日本の出来事
・青函トンネル本坑が貫通
・ソ連書記長にゴルバチョフ氏
・日本電信電話会社(NTT)と日本たばこ産業会社が正式発足
・日航ジャンボ機が群馬県の御巣鷹山に墜落
・苦小牧港と中国泰皇岛湾と友好港湾関係を結ぶ
・苦小牧市が市民憲章を制定



第34代理事長
大津 山峻

1986
昭和61年

役員

副理事長 玉川 健仁
渡辺 建治
今成 克正
小保方 伸一
専務理事 先田 一郎

いま 求められる勇気ある行動

■ この年の苦小牧青年会議所
この年のLOMスローガン「いま求められる勇気ある行動」を旗印に、苦小牧における地域の現実的問題を具体的にに取り上げ活動を行った。
大学・企業誘致問題、まつりの原点追求など、当時目の前にあった諸問題について積極果敢に取り組んだ一年となった。

■ この年の日本の出来事
・スペースシャトル「チャレンジャー」が爆発
・ハレーすい星が地球に最接近
・チェルノブイリ原子力発電所事故
・世界自転車プロ・スプリント、中野浩一が10連覇達成
・伊豆大島・三原山が噴火 東京都の避難命令で島民1万300人が離島
・表町に「トピア」オープン



第35代理事長
齋藤 仁

1987
昭和62年

役員

副理事長 山下 明
針生 政春
田村 雄二
専務理事 工藤 英幹

創ろうわが街 深めようふれあいと交流

■ この年の苦小牧青年会議所
5月例会において「飛び出せ宇宙へ」と題して松本零士氏を招いて開催。多くの方々に宇宙の楽しさを知って頂いた。
第32回苦小牧港まつりでは「ビック迷路」製作。たくさん子どもと触れあい楽しんでもらった。

■ この年の日本の出来事
・竹下内閣発足
・国鉄 分割・民営化(JR発足)
・中国 民主化要求運動が中国全土に広がる
・ニューヨーク株式市場大暴落(ブラックマンデー)
・後楽園球場が半世紀の幕を閉じる
・ノーベル賞に利根川進氏



第36代理事長
田村 雄二

1988
昭和63年

役員

副理事長 福原 次郎
志方 晴樹
櫛原 和久
大澤 隆之
専務理事 青地 洋一

心のふれあいから 新しい力を

■ この年の苦小牧青年会議所
3月例会で、白老JCと合同例会を開催。タイトルは「日本JCの考えるブロックの有り方」であった。
5月16日の例会は「ネーピアは燃えていた」と題し苦小牧・ネーピア姉妹JC締結10周年記念訪問を行った。
5月22日には、35周年記念式典を開催した。

■ この年の日本の出来事
・リクルート事件発覚
・三木武夫死去(81歳、衆議院・内閣合同葬)
・青函トンネル開通
・苦小牧港開港25周年
・苦小牧中央図書館・サンガーデン開館
・ソウルオリンピック開催
・南海ホークス・阪急ブレーブスがそれぞれダイエー、オリックスに売却



第37代理事長
渡辺 健治

1989
昭和64年
(平成元年)

役員

副理事長 渋谷 正義
吉田 直大
藤島 豊久
丹治 秀寛
専務理事 佐藤 弘

Be Jaycee 新たな航 たびだち

■ この年の苦小牧青年会議所
第15回苦小牧・八戸姉妹JC親善アイスホッケー大会を開催し、熱い戦いをし、熱い友情を確かめあった。
5月11日～16日「フレンドシップワールド'89目で見える国際フェア」開催。
10月20日シンポジウム'89 ICE LAND 苦小牧一氷都の街づくりを開催した。

■ この年の日本の出来事
・昭和天皇崩御 時代は平成へ
・消費税施行(税率3%)
・宇野短命内閣発足
・海部内閣発足
・横綱千代の富士 国民栄誉賞を受賞
・橋本聖子が1989年スピードスケート世界選手権 500mで優勝



第38代理事長
岩倉 圭彦

1990
平成2年

役員

副理事長 丹治 秀寛
田中 正彦
秋山 集一
阿部 明弘
専務理事 大澤 助三郎

The Time is Right!! 時は今! 確かな一歩を!

■ この年の苦小牧青年会議所
東欧の変革から始まる大きなうねりの中で、青年の新たな役割を模索した一年であった。
変革のチャレンジとして「会員の自己開発」「新しい社会開発事業」を柱に様々な施策を実施した。
LOM内外へ積極的に働きかけ、高度成長期と違う価値観創出に努めた。

■ この年の日本の出来事
・2月 南ア政権マンデラ氏釈放
・5月 日本人ゴッホ名画125億落札
・6月 フジモリ氏ペルー大統領就任
・8月 イラク軍クウェートへ侵攻
・8月 コンスタンチン君礼帽で治療
・10月 統一ドイツ誕生
・11月 皇居にて即位の礼行われる
・11月 雲仙普賢岳二百年振り噴火
・12月 秋山豊寛氏日本人初の宇宙へ



第39代理事長
丹治 秀寛

1991
平成3年

役員

副理事長 佐藤 弘
青地 洋一
佐藤 幸博
梶川 昇
専務理事 朝倉 瑞昌

やさしい心で人・まちふるさとづくり

■ この年の苦小牧青年会議所
「やさしい心で人・まちふるさとづくり」をスローガンに魅力あるまちづくりの運動を推進していった。
また、年会費、諸規定を大改正し組織改革を図った。
街づくりを強く意識した活動を通じて、青年が「何をするのか」ではなく「何をしなければいけないのか」という思いを形にした一年であった。

■ この年の日本の出来事
・1月 多国籍軍イラクに空爆開始
・4月 牛肉オレンジの輸入自由化へ
・6月 雲仙普賢岳で火砕流発生
・6月 南ア議会アパルトヘイト終結
・7月 ワルシャワ条約機構解体
・7月 証券大手4社損失補填先発表
・9月 大型景気戦後最長の58ヶ月目
・12月 ウトナイ湖ラムサール条約登録
・12月 中日の落合 3億円選手に



第40代理事長
阿部 明弘

1992
平成4年

役員

副理事長 大澤 助三郎
寺坂 志敏
成田 幸隆
藤島 豊久
大会事務局 田中 正彦
専務理事 川端 隆志

勇気を持って進もう革新への道

■ この年の苦小牧青年会議所
長引く平成不況の中、時代に即し、時代を創り、時代を超える活動を行い市民活動の先頭に立つ実践的政策集団となる事を理念に掲げた。
また会計処理をはじめとするシステムを改革し、社団法人格の既得団体としてより良いモデルとなった。
「変革の能動者たらん」と過去のJC宣言に謳われた一文の実践で伝統を力に変えた一年であった。

■ この年の日本の出来事
・1月 大相撲貴花田史上最年少で優勝
・5月 国家公務員完全週休2日制開始
・5月 北方領土ビザなし交流スタート
・7月 大手商社マン過労死が労災認定
・9月 学校週5日制スタート
・9月 毛利衛氏が初の宇宙授業
・10月 トヨタ北海道工場操業開始
・11月 ミクリントン大統領当選
・11月 横浜大洋が横浜ベイスターズに
・12月 韓国31年振り文民政権誕生



第41代理事長
田中 正彦

1993
平成5年

役員

専務理事 朝倉 瑞昌
副理事長 武田 敏明
高橋 徹哉
石塚 久博
富士 徳彦
専務理事 古木 匡司

心を集結した仲間たちの感動こそが地球市民運動の先駆だ! [SEED-今こそ種を踏もう!]

■ この年の苦小牧青年会議所
創立40周年を迎え、記念式典行事など数々のイベントが行われた年であった。
また、この年は同時に北海道地区大会の主管の年でもあり、数多くのJCメンバーが集まり、あらゆる面で交流が活発に行われた年であった。
また、LOM内では「パチンコ例会」といった一風変わった会員交流イベントが行われたのが印象的な年であった。

■ この年の日本の出来事
・釧路沖地震発生 死者2名
・日本初のプロサッカー「Jリーグ」が10チームで開幕
・皇太子さまと雅子さまの「結婚の儀」が皇居で行われ、祝賀パレードでは約19万人が祝福
・北海道南西沖 奥尻島など津波被害多数 死者約200名
・苦小牧港開港 30周年
・市民文化公園が完成



第42代理事長
大澤 助三郎

1994
平成6年

役員

副理事長 中村 友和
朝倉 瑞昌
専務理事 赤川 勉
柳谷 真

“さわやか”に始めよう 自らの意識の改革を！

■ この年の苦小牧青年会議所
40周年記念と、地区大会を納めた次の年として、この年は次世代へ向けた苦小牧JCのあり方を考えていった一年であった。アンケート調査・懇親会などで意識変革をするための足がかりとし、その後10年のJC活動の基礎となった。
また、定款の全面的な見直しに着手し、効率的な組織運営が出来るように改めていったのがこの年の大きな出来事である。

■ この年の日本の出来事
・リレハンメルオリンピック開幕
スピードスケート男子500mで堀井学選手が銅メダルを獲得
・細川内閣総辞職
・松本サリン事件
・日本人初の女性宇宙飛行士 向井千秋さんスペースシャトルで宇宙へ
・苦小牧市の市民活動センター会館
・苦小牧駅前通りシンボルストリート完成



第43代理事長
朝倉 瑞昌

1995
平成7年

役員

副理事長 山崎 肇
古木 匡司
専務理事 丸屋 輝夫

Challenge!! 新世紀へ 更なる自信

■ この年の苦小牧青年会議所
自己の意識改革(受動から能動へ)JCメンバーとしての誇りを持つ夢のある苦小牧(まち)の実現、次代(みらい)のグランドビジョンを作成する基本理念として、古くよきJCの一端を残しながら、新世紀に向けての新しいJCの構築にChallengeした年であった。
また拡大は前後期24名を仲間に加え、道南ブロックの会長も輩出した。

■ この年の日本の出来事
・1月17日未明 兵庫県淡路島を震源とする直下型地震が発生
マグニチュード7.2 震度6 死者5469人他多数の負傷者をだすこととなった阪神大震災と命名される戦後最大の被害を出した震災
・東京都内の地下鉄電車内にオウム真理教がサリンをまき、12人が死亡、5500人が重軽傷



第44代理事長
村木 透

1996
平成8年

役員

副理事長 古木 匡司
山田 新一
古田 幸徳
専務理事 赤川 勉

夢創造 変化を恐れず自らが！

■ この年の苦小牧青年会議所
「夢創造 変化を恐れず自らが！」のスローガンのもと、市民・企業・行政とのパートナーシップをとりながら、様々なボランティア団体やサークル団体との連係による市民組織の確立を目指した一年であった。

■ この年の日本の出来事
・病原性大腸菌「O-157」集団食中毒発生
・ペルー日本大使公邸人質事件
・豊浜トンネル岩崩落事故
・苦小牧白鳥アリーナ完成
苦小牧のシンボルとなり、多くのイベントが行われている



第45代理事長
成田 幸隆

1997
平成9年

役員

副理事長 千葉 仁司
木村 真
柳谷 義人
村上 義人
LOM事業部長 古木 匡司
専務理事 青木 俊憲

“原点をみつめて REMAKE THE JC”

■ この年の苦小牧青年会議所
～『好きトマ』運動の始まり～
姉妹LOM八戸JCの「ラブはち運動」からヒントを得、市職員5名の参加も得て「好きトマ」(好きになろう苦小牧会)運動が旗揚げした。
早朝からの朝食委員会や苦小牧特産品の試食会などを通じて、苦小牧の歴史・誇れるものを深く学んだこの会は、のちに会員の間で「好きトマ」という言葉が広まるきっかけとなった。

■ この年の日本の出来事
・神戸で小学生相手の連続傷害殺人事件犯人は「酒鬼薔薇聖徒」の名前で犯行声明を送りつけた中学生
・北海道拓殖銀行、山一証券など大手金融機関の経営破綻相次ぐ
・サッカー日本チームW杯アジア予選通過 本大会初参加決定
・ダイアナ元英皇太子妃 交通事故死
・消費税が3%から5%に引き上げ



第46代理事長
木村 司

1998
平成10年

役員

副理事長 青木 俊憲
橋 勇治
丸屋 輝夫
専務理事 渡邊 武志

スタンスはスクエア TRY JUST NOW!

■ この年の苦小牧青年会議所
新しいJC広報の可能性を模索することを目的に、当時普及し始めたインターネットに着目し、ホームページを開設した。
また、苦小牧JC45周年を迎え、記念事業として記念事業「はぐくみ」を行い、その中で演劇・フォトコンテストなどを開催した。

■ この年の日本の出来事
・冬季五輪長野大会開幕
・苦小牧市制50周年
・苦小牧駒澤大学開校
・明石海峡大橋開通
・和歌山市毒入りカレー事件
・北朝鮮が弾道ミサイル一発発射
三陸沖に着水
・ワールドカップサッカー
フランス大会に日本代表初出場
・横浜ベイスターズ38年ぶり日本一



第47代理事長
丸屋 輝夫

1999
平成11年

役員

副理事長 鈴木 傑
小栗 智加志
長谷川 智
専務理事 清野 始

一歩前へ

■ “一歩前へ”というスローガンのもと、メンバーの個々の積極性が形として表れた事業が多い年であった。

また、ウトナイ湖に関する事業も行われ、苫小牧市民を対象に「好きトマ探検隊 in ウトナイ」が実施され、大いに盛り上がった。

- この年の日本の出来事
- ・日の丸・君が代を国旗・国歌とする法律が成立
 - ・神奈川県警察の不祥事が相次ぎ発覚
 - ・対人地雷全面禁止条約発効
 - ・苫小牧市科学センターに宇宙ステーションミール展示館が完成
 - ・「苫東」設立



第48代理事長
青木 俊憲

2000
平成12年

役員

副理事長 福井 洋幸
本間 裕章
清野 始
山口 武宏
専務理事 坂本 将一

自らを奮い立たせ BEST をつくせ！

■ 札幌でのJCI世界会議の開催、有珠山の噴火等大きな出来事が多く、LOMがより一丸となった年だった。

「好きトマ」精神の浸透を基礎に、予算・事業・運営の効率化を図り、またメンバー各位の「自己改革」を積極的に推進して変革の能動者としての活動を促進した年であった。

- この年の日本の出来事
- ・1月 西暦二千年問題トラブルなし
 - ・3月 横綱若乃花引退
 - ・3月 有珠山22年ぶりに噴火
 - ・4月 小淵首相緊急入院昏睡状態に
 - ・4月 森善朗氏第85代首相に就任
 - ・5月 九州道で包丁少年バス乗っ取り
 - ・6月 雪印大阪工場で食中毒発生
 - ・8月 三宅島噴火し村民島外へ避難
 - ・11月 イチロー選手マリナーズ入団



第49代理事長
山口 武宏

2001
平成13年

役員

副理事長 吉田 正範
渡邊 武志
坂本 将一
専務理事 岩村 孝徳

今こそ・未来・創造の時！

■ 新世紀を迎え、新たな時代へ発進したこの年の青年会議所は、「混沌とした状況を打破」すべく、メンバー一人ひとりが高いモチベーションを保ちながら活動を行った。

また、この年、日高中部青年会議所の設立に中心的役割を果たすなど内外において活動した年であった。

- この年の日本の出来事
- ・兵庫県明石市の歩道橋が倒壊し事件
 - ・小泉純一郎内閣発足
 - ・米中核同時テロ事件
 - ・米英は、国際テロ組織「アルカイダ」とタリバン政権への攻撃
 - ・ノーベル化学賞に野依良治氏



第50代理事長
福井 洋幸

2002
平成14年

役員

副理事長 杉浦 真城
吉田 正範
専務理事 高橋 憲司

夢をかたちに 行動力こそ JAYCEE のプライド

■ この年は、創立50周年を目前に控え、LOM一丸となり事業に取り組んだ年であった。会員拡大において全国一になり表彰されるなど、対外的にもその存在感を大きく見せた年でもあった。

そして、2004年度北海道地区大会主管を決めるなど、未来へ向けて大きく種を播いた年だった。

- この年の日本の出来事
- ・ソルトレークシティーオリンピック大会が開幕
 - ・ベルリン国際映画祭で「千と千尋の神隠し」（宮崎駿監督）が最優秀作品賞に当たる金熊賞受賞
 - ・サッカーワールドカップ Korea Japan 大会開幕
 - ・北朝鮮拉致被害者5名帰国
 - ・ノーベル賞に小柴昌俊氏と田中耕一氏が選ばれる



第51代理事長
吉田 正範

2003
平成15年

役員

直前理事長 福井 洋幸
副理事長 岩村 孝徳
杉浦 真城
山口 武宏
専務理事 渡邊 武志
瀬野 誠

喝！自分に勝つ！

■ 社団法人苫小牧青年会議所は、この年設立50年を迎え、一つの集大成として記念式典・記念行事を多数行った。

また、翌年に控えた北海道地区大会へ向けた準備を進め、対内・対外活動が大変活発に行われた年であった。

- この年の日本の出来事
- ・イラク戦争
 - ・横綱貴乃花が引退
 - ・阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝
 - ・統一地方選挙と衆議院議員総選挙
 - ・台風10号で日高地方で大災害
 - ・十勝沖地震で北海道各所に災害
 - ・苫小牧の出光北海道精油所で十勝沖地震によるタンク火災がおき、市内各所で煙と消火剤に包まれる
 - ・苫小牧市街地に熊出没



第52代理事長
渡邊 武志

2004 平成 16 年

役員

直前理事長 吉田 正範
副理事長 瀬野 誠
工藤 裕介
喜多 新二
高橋 憲司
坂本 将一
専務理事 上田 弘政

CAUSE A WAVE 今こそ次世代への波を起そう 青年の英知と勇気と情熱を結集して!!

■ この年の苦小牧青年会議所
例会において人間力開発を中心に組み、政策面においては市民参加型行政に向けての討論会や、白老、千歳との広域連携の模索を目的に3LOM協議会の立ち上げについて踏み出した。

街の活性化に向けてはアイスクャンドル事業、七夕飾り事業を行った。

11年ぶりの北海道地区大会主管を務め成功裏に終えた。

- この年の日本の出来事
- ・山口県内の養鶏場で鳥インフルエンザが発生する
 - ・陸上自衛隊の派遣本体第1陣がイラク南部のサマワに到着する
 - ・台風23号が上陸 死者・行方不明者98人という大きな被害をもたらす
 - ・新潟県中越地震が発生
マグニチュード6.8 最大震度7
 - ・新紙幣が発行される
 - ・駒大苫小牧が夏の甲子園で北海道勢で初優勝
 - ・住民基本台帳に基づく人口で、苫小牧市が帯広市を上回り、道内第5位の人口をもつ都市となる



第53代理事長
坂本 将一

2005 平成 17 年

役員

直前理事長 渡邊 武志
副理事長 矢部 道晃
小林 裕治
清水 一広
杉浦 真城
中原 茂人
高橋 憲司
神田 英俊

大志をもつ仲間(同志)が志士となり、勇気を持ち変革に向け共に行動する

■ この年の苦小牧青年会議所
第1回マリナーフェスティバルの主催や、中学生のハローワーク、大人向け環境教育ビデオ配布事業など、北海道地区大会主管の翌年にもかかわらず精力的な活動が行われた。また、HFCC(北海道未来協議会)の発足や、未来への宣言の策定など、未来へのビジョン示した一年であった。

- この年の日本の出来事
- ・中部国際空港(愛称セントレア)が開港する
 - ・愛知万博(愛称:愛・地球博)が開幕する
 - ・JR 福知山線脱線事故がおこる
 - ・知床の世界遺産(自然遺産)登録が決定する
 - ・郵政民営化関連法案が成立する
 - ・駒大苫小牧が夏の甲子園で連覇
 - ・「イオン苫小牧ショッピングセンター」(現イオンモール苫小牧) 開店
 - ・「丸井今井百貨店苫小牧店」、サンプラザ内「ダイエー苫小牧店」が閉店し撤退



第54代理事長
矢部 道晃

2006 平成 18 年

役員

直前理事長 坂本 将一
顧問 渡邊 武志
副理事長 長山 愛一郎
阿部 喜憲
神田 英俊
土屋 英樹
専務理事

「ひと」「まち」を変えるのは私たちである ひたむきに! がむしゃらに! ガッツJAYCEE

■ この年の苦小牧青年会議所
「輝きのある地域創造の探求」「時代に即した青年会議所活動の推進」「青年会議所の社会的役割についての変革」「次世代を担う確かな人材の育成」「輝きあるJAYCEEの育成と経営力の向上」と5つの運動指針を定め運動を展開。また、昨年に引き続き、勇払マリナーフェスティバルを継承。さらに、規模を大きくして、苫小牧東部地区を盛り上げた。

- この年の日本の出来事
- ・ホリエモン、村上代表ら粉飾決算や株のインサイダー取引などで逮捕
 - ・日本銀行が5年4か月続けてきたゼロ金利政策の解除を決定する
 - ・秋篠宮家に男子子 皇室として41年ぶり
 - ・安倍晋三氏が第90代内閣総理大臣に指名され、安倍内閣が誕生する
 - ・福島県前知事、和歌山県前知事、宮崎県前知事が官製談合事件で逮捕される
 - ・第61回国民体育大会冬季大会(氷都とまこまい国体)開催
 - ・苫小牧市立病院を清水町に移転



第55代理事長
岩村 孝徳

2007 平成 19 年

役員

直前理事長 矢部 道晃
顧問 坂本 将一
副理事長 尾野 仁昭
藤田 健次郎
専務理事 米田 嘉慎

「本気のチャレンジ!」~チャレンジ精神を持って、参加することから始めよう 我がまち苫小牧と子供達のために~

■ この年の苦小牧青年会議所
月2回の例会、各種事業、全29回の理事会、全国大会帯広大会・地区大会千歳大会の副主管等、様々な活動を実行した年であった。

褒章大綱に則り、委員会賞の対象委員会がなしという結果ではあったが、ケーキ例会、はしご酒例会など、後に語り継がれる例会などが多数開かれた。また、家族会も盛大に行われ、活発な活動が行われる一年となった。

- この年の日本の出来事
- ・食品偽装が次々と発覚
 - ・厚生年金・国民年金の保険料に関して、誰が納めたか分からない記録が約5000万件あることが判明する
 - ・新潟県中越沖地震発生
マグニチュード6.8 最大震度は6強
新潟県内で死者15名が出ている
 - ・第21回参議院議員通常選挙で自民党が大敗
 - ・安倍首相が突然退陣
後任に福田氏が選出される
 - ・日本郵政(JP)グループが発足
 - ・地上波デジタル放送を開始
 - ・苫小牧市の過去最高気温、35.5℃を記録する



第56代理事長
高橋 憲司

2008 平成 20 年

役員

直前理事長 岩村 孝徳
副理事長 鈴木 史朗
上田 弘政
佐藤 瑞輝
神田 英俊
専務理事 藤田 健次郎

温故知新の精神をもって 大志を胸に 備えよ常に!

■ この年の苦小牧青年会議所
55周年を迎えたこの年は、様々な講師にお越しいただいた。55周年記念事業として、義家弘氏をお招きし、「ヤンキー先生講演会」を開催した。ほかにも、「夜回り先生」こと水谷修先生やUFO研究家の矢追純一氏など、多種多様な講師より様々な角度からの物の見方などを学んだ。また、55周年記念事業としてのOB交流会は、多くのOBにお越しいただき、盛大に開催した。

- この年の日本の出来事
- ・中国産冷凍餃子による中毒事件が明らかになる
 - ・後期高齢者医療制度はじまる
 - ・洞爺湖サミットが開幕する
 - ・福田康夫首相が辞意を表明、麻生太郎氏が第92代内閣総理大臣に指名される
 - ・アメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻し、世界的な株価の大暴落がはじまる
 - ・ノーベル物理学賞に南部陽一郎、小林誠、益川敏英の3氏、化学賞に下村脩氏と日本人が一挙に4人受賞



第57代理事長
上田 弘政

2009
平成21年

役員

直前理事長 高橋 憲司
顧問 岩村 孝徳
副理事長 土屋 英樹
鷹松 昌彦
竹越 昌彦
乾 哲也
専務理事 廣澤 隆

地域を救え！ JAYCEE としてのプライドを胸に！

■ この年の苦小牧青年会議所
公益社団法人格取得に向け、対外に飛び出した事業が多く開催された年だった。オープン例会も頻繁に開催され、島田洋七氏をお招きした基調講演も多く多くの市民に参加していただいた。また、地域交流創造事業では、各町内会や警察と連携しパトロール事業を行い、例年より犯罪率の減少という結果も得られた。また、舞台を札幌市のサッポロファクトリーに移し、苦小牧観光協会と連携し、他地域へ苦小牧の発信を行った。

■ この年の日本の出来事
・バラク・オバマ氏が第44代アメリカ合衆国大統領に就任する
・改正薬事法が施行される
・皆既日食が観測される
・東京地方裁判所で、初の裁判員裁判が行われる
・衆院選で民主党圧勝
・政権交代で鳩山政権誕生
・道の駅ウトナイ湖が開業



第58代理事長
土屋 英樹

2010
平成22年

役員

直前理事長 上田 弘政
顧問 岩村 孝徳
副理事長 高橋 憲司
米田 嘉慎
笹嶋 隆廣
藤田 健次郎
矢部 大観
伊部 尚宏
専務理事

真苦小牧を JAYCEE から発信 ～心から芯が新になり真へ～

■ この年の苦小牧青年会議所
近郊地域 4 町との広域連携の勉強会や商工会青年部とのパネルディスカッション、市民参加制度を促すパネルディスカッション、子供達とキャンプ事業、市の市民自治推進課と共同し市民1000人にアンケート事業、4 町と連携のスイーツスタンプラリー、市と連携しフィルムコミッションやラリージャパンの企画、大黒摩季のコンサート企画、安里繁信直前会頭の講演等、様々な事業を通じ苦小牧には多くの可能性があることを再認識。

■ この年の日本の出来事
・日本年金機構が発足する
・高校無償化法が施行される
・家畜伝染病の口蹄疫が流行していた宮崎県で非常事態宣言
・鳩山由紀夫内閣総理大臣が退陣を表明、菅直人民主党代表が第94代内閣総理大臣に指名される
・小惑星探査機はやぶさが地球に帰還
・参院選挙で民主党が大敗 ねじれ国会に
・尖閣諸島中国漁船衝突事件おこる
・根岸英一、鈴木章がノーベル化学賞を受賞する
・大相撲八百長問題
・とまチョップ誕生



第59代理事長
藤田 健次郎

2011
平成23年

役員

直前理事長 土屋 英樹
顧問 高橋 憲司
副理事長 阿部 栄一郎
島崎 克志
吉本 一憲
専務理事 藤 淳一

青年の今、自らを研鑽し 自利利他の志で世界を改革せよ！

■ この年の苦小牧青年会議所
3月11日発生の大災害により日本国中が様々な影響を受けたこの年は、各事業の他に救援物資の手配と輸送、現地での人的支援、復興資金の募金活動等、暗中模索ながら、自利利他の志で活動を行った。ウトナイ湖サンクチュアリでは、家族を招き、ウトナイ湖の再発見を家族と見つけ、郷土愛を育んだ。また、「苦小牧の未来をみんなで語ろう」と題して、ワールドカフェや議会報告会などを行った。さらに町内会加入促進広報を市内全戸配布した。

■ この年の日本の出来事
・東日本大震災が発生
・巨津波が押し寄せ、死者・行方不明者1万8537人など、大きな被害が発生した
・苦小牧でも津波3.8メートルを観測
・FIFA 女子ワールドカップで、サッカー日本女子代表(なでしこJAPAN)が初優勝する
・外国為替市場で1ドル=75円32銭を記録する
・北朝鮮の最高指導者金正日総書記が死去



第60代理事長
吉本 一憲

2012
平成24年

役員

直前理事長 藤田 健次郎
副理事長 星野 岳夫
佐藤 元信
伊部 尚宏
廣澤 隆
松本 義孝
専務理事

「和」をもって心ひとつに地域のために

■ この年の苦小牧青年会議所
地域資源に目を向け、その情報発信を行う事で地域の連携の可能性を探り、地域経済の活性化につなげる運動、そして、地域の子供達を次代を担う「地域の宝」として捉え、夢を持つことで向上心や精神力さらには「和」のこころといった道徳的な心を育む運動等、様々な運動を行った。
またこの年一般社団法人格を取得し、一般社団法人苦小牧青年会議所となる。

■ この年の日本の出来事
・復興庁が発足する
・地上アナログ放送が終了する
・菅首相が退陣表明
・内閣総理大臣に野田氏が指名される
・北太平洋上を中心に金環日食が観測される
・東京スカイツリーが開業する
・衆議院議員総選挙で自由民主党が大勝し、安倍晋三自由民主党総裁が第96代内閣総理大臣に選出される



第61代理事長
伊部 尚宏

2013
平成25年

役員

直前理事長 吉本 一憲
副理事長 松本 義孝
佐々木 亮輔
青山 直樹
廣澤 隆
アカデミー委員長 阿部 和法
専務理事 相馬 司

前へ ～明日(未来)へ向かって踏み出そう～

■ この年の苦小牧青年会議所
5月に開催された道南エリアスポーツ大会では16年振りの優勝を飾り、6月のアカデミー塾担当例会では100%出席例会を達成。
青年会議所創立 60 周年の節目を迎え、式典、懇親会、記念事業を行った。会員拡大も26名の新入会員が入会し、周年事業に向けて大きな弾みとなった。平行して、今年度の例会、事業もスローガンのもと、多岐にわたって、精力的に活動に取り組んだ。
また、未来への宣言を新たに宣言した年でもある。

■ この年の日本の出来事
・長嶋茂雄監督と松井秀喜選手に対し国民栄誉賞授与
・世界遺産に富士山が登録される
・2020年東京オリンピック誘致成功
・消費税8%閣議決定
・日本女子アイスホッケーがオリンピック出場決定
・楽田中将大、無敗の24連勝
・苦小牧港、開港50周年を迎える

2014

平成26年

役員

【直前理事長】

伊部尚宏

【顧問】

吉本一憲

【副理事長】

金久 徹

阿部和法

矢木拓郎

【アカデミー塾 塾長】

藤 淳一

【組織連携

推進会議 議長】

青山直樹

【専務理事】

大槻卓矢

【監事】

佐々木亮輔

相馬 司

亀谷太郎

【運営室 常務理事】

大滝力緒

【開発室 室長】

大西奏介

【政策室 室長】

佐藤章一

【事業室 室長】

大関正芳

【LOM

運営委員会 委員長】

丹治秀章

【経済人

育成委員会 委員長】

石黒良一

【会員拡大委員会

委員長】

錦戸大輔

【地域

政策委員会 委員長】

鏡 吉伸

【次世代政策委員会

委員長】

矢農 誠

【交流渉外委員会

委員長】

葛西賢治

【地域活性委員会

委員長】

大津山泰斗

【アカデミー塾 副塾長】

春日剛史

【組織連携推進会議

副議長】

早川陽介

渡辺秀敏

【出向理事】

廣島貴典

丹羽圭司

日沼直竹

第62代 理事長

廣澤 隆

スローガン

真に明るい未来の創造

～共に歩む心を一つに～

■この年の日本の出来事

- ・東京都知事に舛添氏が当選
- ・「笑っていいとも!」最終回
- ・消費税8%に引き上げ
- ・富岡製糸場、世界遺産に登録決定
- ・第2次安倍改造内閣が発足
- ・ソチ五輪で羽生結弦が日本人初の金メダルを獲得

■この年の苫小牧青年会議所

児童虐待防止集会を開催し、市への提言を行ったことでその後の児童相談所開設へ布石を打つ事業であった。この事業が認められ 2015年に日本青年会議所 WEB・広報活動部門でグランプリを獲得した。また、カジノを含む統合型リゾートIRの実態を把握し、討論会を行うなど苫小牧市の適時な課題に迅速に取組み、運動を展開した。

【主な活動内容】

- ・スケートまつり「JC アイランド」
- ・次世代の子どもたちを救え～実践編～
- ・港まつり「JC フレンドパーク」
- ・苫小牧の未来を考えるIR 討論会
- ・第63回北海道地区大会小樽大会
- ・苫小牧市と防災基盤強化協定の締結
- ・LOM ブース出店事業



【直前理事長】

廣澤 隆

【副理事長】

廣島 貴典

藤 淳一

大槻 卓矢

【アカデミー塾 塾長】

龜谷 太郎

【地区大会

立候補会議 議長】

山本 康二

【専務理事】

鏡 吉伸

【監事】

相馬 司

阿部 和法

【運営室 常務理事】

丹羽 圭司

【政策室 室長】

丹治 秀章

【拡大開発室 室長】

早川 陽介

【交流事業室 室長】

春日 剛史

【アカデミー塾 副塾長】

葛西 賢治

【地区大会

立候補会議 副議長】

矢木 拓郎

【総務委員会 委員長】

加藤 啓綱

【地域活性

政策委員会 委員長】

渡辺 秀敏

【市街地活性

政策委員会 委員長】

源津 善崇

【会員拡大委員会

委員長】

酒井 雅樹

【夢のある経済人

育成委員会 委員長】

松岡 伸治

【交流委員会 委員長】

吉井 生

【市民協働委員会

委員長】

佐藤 天亮

【出向理事】

日沼 直竹

田野 貴弘

小林 史郎

錦戸 大輔

第63代 理事長

青山 直樹

スローガン

夢咲き誇る地域のために
志高くその一步を

■この年の日本の出来事

- ・アップルウォッチ発売
- ・選挙権18歳以上 参議院で可決
- ・又吉直樹氏が芥川賞受賞
- ・米国とキューバが国交回復
- ・ラグビーW杯
南アフリカに歴史的勝利

■この年の苫小牧青年会議所

第65全国大会が姉妹 LOM である八戸青年会議所が主幹となり行われ、当会も副主管としてブースを出展するなど尽力をした。また、苫小牧の経済発展のために企業誘致に関する事業を開催し苫小牧の経済の発展に寄与した年であった。さらに10月例会では関係諸団体をお招きし今後のお祭りについて議論を行い、その後の提言につなげた。

【主な活動内容】

- ・港まつり
～TOMAKOMAI ドリームランド～
- ・苫小牧東部地域見学事業
- ・第64回全国大会東北八戸大会
ブース出店事業

- ・経済的発展事業
～企業誘致のために今必要な事～
- ・今大人たちに必要なものは
～経済人育成事業～
- ・市民主導の誇れる「まち」苫小牧



2016

平成28年

役員

【直前理事長】

青山直樹

【副理事長】

山本康二

鏡吉伸

葛西賢治

【アカデミー塾 塾長】

春日剛史

【地域未来創造会議 議長】

阿部和法

【専務理事】

丹治秀章

【監事】

亀谷太郎

矢木拓郎

【副専務理事】

早川陽介

【運営室担当

常任理事】

矢農 誠

【事業室担当

常任理事】

大津山泰斗

【政策室担当

常任理事】

渡辺秀敏

【開発室担当

常任理事】

日沼直竹

【アカデミー塾 副塾長】

大関正芳

丹羽圭司

【理事】

石黒良一

大槻卓矢

大西奏介

加藤啓綱

源津善崇

佐藤章一

佐藤天亮

田野貴弘

廣島貴典

【L.O.M運営委員会

委員長】

中岡亮太

【交流委員会 委員長】

牧野巖志

【おまつり委員会 委員長】

大宮久司

【まちづくり

政策委員会 委員長】

磯貝大地

【地域発信

政策委員会 委員長】

阿部英樹

【指導力

開発委員会 委員長】

小野昌人

【社会開発委員会 委員長】

坂井 学

【地域未来

創造会議 副議長】

青地宏史

佐々木真史



第64代 理事長

藤 淳一

スローガン

勇猛 壮大なる挑戦

～まだ見ぬ景色を目指して～

■この年の日本の出来事

- ・マイナンバー制度がスタート
- ・北海道新幹線が開業
- ・民進党が発足
- ・熊本地震が発生
- ・カープが25年ぶりのリーグ優勝
- ・人気アイドルグループSMAP解散

■この年の苫小牧青年会議所

市民向け討論会の開催や観光事業への取り組みなど市民の声に耳を傾け、寄り添った年であった。また、たるまえサンフェスタへの参画を試みた年であり、多くの子どもたちの笑顔創出の機会を広げた年であった。当年度は2018年度の北海道地区大会主管を立候補し選挙の末、決定した年でもあった。

【主な活動内容】

- ・スケートまつり「JCわくわくジャンボリー」
- ・町内みんなで作るフリーマーケット事業
- ・全市民的討論会
～みんなで作るまちの未来～
- ・苫小牧お助けネットワーク体験事業
- ・各地青年会議所共同事業
観光パンフレット制作事業
- ・寄り道型観光への一歩



【直前理事長】

藤 淳一

【副理事長】

大関正芳

丹治秀章

阿部和法

【アカデミー塾 塾長】

大槻卓矢

【地区大会

準備会議 議長】

佐藤章一

【専務理事】

渡辺秀敏

【監事】

春日剛史(特別会員)

廣島貴典

【運営室担当 常任理事】

佐藤天亮

【事業室担当 常任理事】

阿部英樹

【政策・会員拡大室担当
常任理事】

源津善崇

【育成室担当 常任理事】

磯貝大地

【地区大会

準備会議 副議長】

日沼直竹

【LOM運営委員会

委員長】

玉川健吾

【交流委員会 委員長】

佐藤千文

【おまつり委員会 委員長】

佐々木真史

【地域共創政策委員会

委員長】

杉村原生

【会員拡大委員会 委員長】

大川原一城

【経済人育成委員会

委員長】

梶川弘樹

【次世代育成委員会

委員長】

曾賀玄瑞

【アカデミー塾 副塾長】

久保卓也

【出向理事】

大津山泰斗

葛西賢治

矢木拓郎

山本康二

第65代理事長

鏡 吉 伸

スローガン

愛郷心と絆を胸に、
次代を担う先駆者となれ

■この年の日本の出来事

- ・ 藤井聡太4段が29連勝
- ・ 浅田真央が引退
- ・ 沖ノ島が世界遺産に
- ・ トランプ米大統領 大統領就任
- ・ 金正男氏殺害
- ・ 韓国のパク・クネ前大統領を逮捕

■この年の苫小牧青年会議所

苫小牧市長と対談を行いダブルポートの最大限の活用について模索し、雇用増から人口増加につなげるべく運動を行った。また、IR誘致が苫小牧にもたらす好循環についても着目し経済人育成に注力した年でもあった。さらに、スケートまつりでは苫小牧の歴史についてフォーカスし市民の郷土愛を育み地域貢献につなげた年となった。

【主な活動内容】

- ・ スケートまつり「歴史体験」JCランド
- ・ 森のアドベンチャークエスト
～大人たちとキャンプで大冒険～
- ・ 港まつり～JCお化けランド
- ・ 未来を照らすイノベーターとなれ
- ・ 次世代育成 ガイドマップ作成事業
- ・ 地域共創セミナー
～苫小牧港の次なるステージへ～



2018

平成30年

役員

【直前理事長】

鏡 吉伸

【地区大会

主管実行委員長】

阿部和法

【副理事長】

磯貝大地

佐藤章一

渡辺秀敏

【アカデミー塾 塾長】

矢木拓郎

【創立65周年

運営会議 議長】

葛西賢治

【専務理事】

玉川健吾

【監事】

廣島貴典（特別会員）

阿部和法

【運営室 室長】

佐藤千文

【事業室 室長】

佐々木真史

【政策・拡大室 室長】

杉村原生

【開発室 室長】

中岡亮太

【創立65周年

運営会議 副議長】

梶川弘樹

【LOM

向上委員会 委員長】

若林 徹

【交流推進委員会 委員長】

佐々木隆幸

【おまつり委員会 委員長】

鈴木 吾

【教育政策委員会 委員長】

櫻田泰己

【拡大委員会 委員長】

高橋銀次郎

【JAYCEEの力

向上委員会 委員長】

上田浩司

【アカデミー塾 副塾長】

藤原剣哉

【理事】

大関正芳

大津山泰斗

源津善崇

山本康二



第66代 理事長 丹治 秀章

スローガン

踏み出す一步が
未来を変える

～ともに歩もう輝く次代へ～

■この年の日本の出来事

- ・北海道胆振東部地震
- ・安倍首相が自民総裁選で3選果たす
- ・映画「万引き家族」カンヌ最高賞受賞
- ・築地市場が83年の歴史に幕
- ・2025年大阪万博決定

■この年の苫小牧青年会議所

創立65周年記念式典と胆振東部地震の影響で日程変更となってしまった北海道地区大会苫小牧大会も無事開催され多くの各地会員会議所が苫小牧に足を運び、成功裏に収めた年であった。また、胆振東部地震発生時は震源地に向き、炊き出しを行うなど困難な状況でも青年会議所としてどうあるべきかについて気づかせていただいた年となった。

【主な活動内容】

- ・JC&おまつり共創メンバー Presents 「JC お化け屋敷」
- ・子どもカフェ販売チャレンジ
- ・ラッキーピエログループ会長講演会
- ・第68回北海道地区大会 苫小牧大会
- ・創立65周年記念式典 記念懇親会
- ・北海道胆振東部地震 チャリティコンサート事業



基調講演

講師:王 一郎 様

ラッキーピエログループ会長

～講演タイトル～

B級グルメ推進ダントツNo.1

パワー戦略

【直前理事長】

丹治秀章

【顧問】

鏡 吉伸

【副理事長】

葛西賢治

佐々木真史

【塾長】

阿部和法

【専務理事】

梶川弘樹

【監事】

磯貝大地 (特別会員)

大関正芳

山本康二

【常務理事】

櫻田泰己

【運営室 室長】

大西奏介

【政策室 室長】

鈴木 吾

【事業室 室長】

久保卓也

【会員開発塾 副塾長】

中岡亮太

【アカデミー塾 副塾長】

佐々木隆幸

【総務委員会 委員長】

長沼啓示

【広報拡大委員会 委員長】

青地宏史

【未来に向けた

まちづくり委員会 委員長

池田俊一

【今を創る

まちづくり委員会 委員長

田中彦樹

【交流委員会 委員長】

青塚昇太

【はじける笑顔

開発委員会 委員長

西村浩生

【理事】

大津山泰斗

佐藤章一

玉川健吾

若林 徹

第 67 代 理事長

渡辺 秀 敏

スローガン

さあ始めよう!

勇気を持って誰かのために。

■この年の日本の出来事

- ・元号が平成から令和に
- ・ラグビー W 杯日本開催
- ・吉野彰さんがノーベル化学賞
- ・あおり運転が社会問題に
- ・消費税が10%に引き上げ

■この年の苦小牧青年会議所

昨年の胆振東部地震の影響もあり苦小牧 FMラジオの足掛けや様々な SNS の採用など広報に注力した。また、姉妹 JC である八戸青年会議所の創立 60 周年記念式典にも参加し、知即愛の精神について理解を深めた年であった。10 月には若年層の社会参画の一路として高校生が主体的に企画し「とまこまいハロウィンフェスタ」が盛大に行われた。

【主な活動内容】

- ・スケートまつり長靴ホッケー大会開催
- ・はちとまネットワーク小学生選抜チーム
アイスホッケー交流事業
- ・港まつり JC お化け屋敷
謎解きアドベンチャー
- ・IR とまちづくり討論会
～今が苦小牧の転換期だ～
- ・FM とまこまいの立ち上げ
- ・令和元年東日本台風の募金活動



2020

令和2年

役員

【直前理事長】

渡辺 秀敏

【副理事長兼

総務室 室長】

梶川 弘樹

【副理事長】

大津山 泰斗

大西 奏介

佐々木 隆幸

【未来組織

創造会議 議長】

葛西 賢治

【100人LOM

必達会議 議長】

若林 徹

【アカデミー塾 塾長】

玉川 健吾

【専務理事】

鈴木 吾

【監事】

磯貝 大地(特別会員)

中岡 亮太(特別会員)

【事業室 室長】

田中 彦樹

【政策室 室長】

青地 宏史

【開発室 室長】

櫻田 泰己

【アカデミー塾 副塾長】

西村 浩生

【事務局 局長】

保坂 俊也

【総務委員会 委員長】

長岡 和輝

【広報渉外委員会 委員長】

関 貴広

【会員交流委員会 委員長】

佐々木 仁美

【おまつり委員会 委員長】

遠藤 了介

【市民自治

推進委員会 委員長】

中江 友紀

【未来財政

戦略委員会 委員長】

今成 大輔

【地域人

育成委員会 委員長】

山崎 陽平

【経営力

向上委員会 委員長】

秋田 純輝

【未来組織

創造会議 副議長】

吉川 昌志



第68代理事長

阿部 和法

スローガン

歩み出せ新時代！ 未来を照らす光となれ

■この年の日本の出来事

- ・新型コロナウィルスの感染拡大
- ・菅首相誕生 新内閣発足
- ・甲子園 春夏中止
- ・藤井聡太七段
最年少タイトル獲得
- ・レジ袋有料化スタート

■この年の苦小牧青年会議所

様々な業種の人達と共に学ぶ機会「やるトマ」を開催し参加者の経営力向上に新たな知見を上げた。また、コロナ禍で外で遊ぶ機会を喪失している子供に向けフィールドワークラリーを行い、多くの子供たちに歴史や魅力を伝え、郷土愛の醸成を構築した年であった。スポーツではコロナ禍で大会中止が相次ぐなか、中学生を対象に野球大会を開催し、感謝の声が寄せられた年でもあった。

【主な活動内容】

- ・スケートまつり「ウィンタージェニック」
- ・献血事業～ナイチンゲールプロジェクト～
- ・経済人育成事業～やるトマ～
- ・苦小牧Jカップ中体連救済野球大会
- ・苦小牧フィールドワークラリー



【直前理事長】

阿部和法

【顧問】

渡辺秀敏

【副理事長】

玉川健吾

西村浩生

若林 徹

鈴木 吾

【アカデミー塾 塾長】

大西奏介

【専務理事】

遠藤了介

【監事】

梶川弘樹(特別会員)

中岡亮太(特別会員)

【事業室 室長】

佐々木仁美

【開発室 室長】

保坂俊也

【拡大室 室長】

秋田純輝

【LOM

運営委員会 委員長】

向井友一

【LOM

活性化委員会 委員長】

長澤潤也

【交流推進委員会 委員長】

中村雄一

【笑顔開発委員会 委員長】

今井祐太

【拡大推進委員会 委員長】

角 大祐

【未来共創委員会 委員長】

中山卓也

【アカデミー塾 副塾長】

青地祐司

【理事】

山崎陽平

大津山泰斗

第69代 理事長

佐々木 隆幸

スローガン

新たな時代を駆け抜けろ

～その先に待つ希望に向かって～

■この年の日本の出来事

- ・東京五輪開催
- ・大谷翔平メジャー MVPに
- ・新型コロナワクチン接種開始
- ・眞子さま、小室圭さん結婚
- ・岸田氏、首相に就任

■この年の苫小牧青年会議所

コロナ禍により事業の中止や会議のリモート化が日常となり、青年会議所活動に影響を及ぼした年であった。そのなかでも千歳青年会議所との合同例会を行い北海道地区大会への理解を共に深めた年であった。また、徹底した感染対策のうえ、JC 展望肝試しと題し事業を設え、多くの市民と子供たちの笑顔を創出した年でもあった。

【主な活動内容】

・JC 展望肝試し開催

・千歳青年会議所との合同例会



2022

令和4年

役員

【直前理事長】

佐々木隆幸

【副理事長】

大西奏介

保坂俊也

【70周年

準備会議議長】

玉川健吾

【アカデミー塾塾長】

西村浩生

【専務理事】

遠藤了介

【監事】

梶川弘樹(特別会員)

鈴木 吾(特別会員)

【総務室 室長】

中江友紀

【事業室 室長】

長澤潤也

【広報政策室 室長】

角 大祐

【アカデミー塾

統括 副塾長】

向井友一

【総務委員会 委員長】

吉川昌志

【交流委員会 委員長】

岩倉真弘

【地域活性委員会 委員長】

前川翔也

【LOM

発信委員会 委員長】

一関章太

【新価値

創造委員会 委員長】

三津橋秀樹

【70周年

準備会議 副議長】

青地祐司

【アカデミー塾 副塾長】

所司有右

【出向理事】

塙 貴文

長尾洋平



第70代 理事長

大津山 泰斗

スローガン

活気あふれる未来に向かって
絆を胸に新たな挑戦

■この年の日本の出来事

- ・安部元首相撃たれ死亡
- ・W杯日本代表16強
- ・知床観光船 沈没事故
- ・村上56本塁打・三冠王
- ・冬季北京五輪開催

■この年の苦小牧青年会議所

道南エリアスポーツ大会がはじめて苦小牧の地にて開催され、多くの参加者の動員に成功し道南エリアの結束を強めた年であった。また、地域の事業者と行政が地域課題の解決に共に取り組める場として岩倉市長をお招きしたまちづくりトークを開催し、行政と事業者の新たなつながりが生まれ多くの反響をよんだ年でもあった。

【主な活動内容】

- ・道南エリアスポーツ大会 苦小牧大会
- ・とまこまいJCスマイルパーク
- ・港まつりJC 苦小牧アドベンチャー
- ・まちづくりトーク
～市と事業者の協働について～



【直前理事長】

大津山泰斗

【副理事長】

保坂俊也

角 大祐

向井友一

【創立70周年
運営会議 議長】

大西奏介

【専務理事】

青地祐司

【監事】

葛西賢治(特別会員)

鈴木 吾(特別会員)

遠藤了介

【運営室 室長】

一関章太

【政策室 室長】

山崎陽平

【事業室 室長】

三津橋秀樹

【創立70周年
運営会議 副議長】

吉川昌志

【総務

渉外委員会 委員長】

江島大和

【まちづくり

政策委員会 委員長】

平野寿浩

【地域未来
政策委員会 委員長】

久積和博

【拡大
研修委員会 委員長】

青塚昇太

【交流委員会 委員長】

原口咲絵

【創立70周年
運営会議 副議長】

塙 貴文

湊 崇

【出向理事】

長澤潤也

第71代理事長

玉川 健吾

スローガン

Take Action!!

～ココロオドル未来へ～

■この年の日本の出来事

- ・新型コロナウイルス5類へ
- ・WBC日本代表14年ぶり優勝

■今年の苫小牧青年会議所

1月	10日	事務所開き
	24日	新年交礼会
	26日	定時総会
	26日	拡大研修委員会1月第一例会
2月	4～5日	第57回スケートまつり参画事業
	22日	地域未来政策委員会2月第一例会
3月	12日	八戸JCアイスホッケー交流戦
	23日	まちづくり政策委員会3月第一例会
4月	1日	札幌JCアイスホッケー交流戦
	27日	総務渉外委員会4月第一例会
5月	25日	拡大研修委員会5月第一例会
6月	3日	創立70周年記念式典・懇親会
	18日	じゃがいもクラブ八戸JC交流戦
7月	24日	定時総会
	26日	OB交流事業
	27日	拡大研修委員会7月第一例会
8月	4～6日	第65回港まつり参画事業
	24日	地域未来政策委員会8月第一例会
9月	2～3日	創立70周年記念事業
10月	26日	拡大研修委員会10月第一例会
11月	22日	総務渉外委員会11月第一例会
12月	1日	卒業式
	11日	定時総会
	14日	三役担当12月第二例会



ココロオドル苦小牧宣言！

経済支援

コ

●子育て支援が充実した街へ！



教育・福祉支援

コ

●子どもをみんなで育む街へ！



福祉

ロ

●老若男女みんなが安心できる街へ！



社会

オ

●思い描けるまちづくり！市民自らつくれる街へ！



教育

ド

●どんな夢も叶う！子どもが夢を叶えられる街へ！



経済

ル

●ルーキーを応援！起業チャレンジの街へ！



一般社団法人苦小牧青年会議所

概 況

創 立 年 月 日	昭和 28 年 12 月 16 日
LOM 認 証 番 号	59
ス ポ ン サ ー JC	一般社団法人札幌青年会議所
社団法人設立年月日	昭和 51 年 8 月 28 日
会 員 数 正 会 員	57 名
特 別 会 員	549 名

事 務 局	〒053-0022 苦小牧市表町 1 丁目 1-13 苦小牧経済センタービル 6F 電話 0144-34-3627 FAX 0144-32-9762 10:00～16:00 水・土・日・祝日は休み
-----------------------------	--

ホームページアドレス	http://toma-jc.jp/
メ ー ル ア ド レ ス	info@toma-jc.jp

事 務 局 員	村井 祐子
--	-------

物故会員

皆様のご功績に感謝し、
心より御冥福をお祈り致します。

平成30年11月（創立65周年）～令和5年4月（創立70周年まで）

※敬称は省略させていただきます。



田村 耕一

1971年卒業
2018年2月16日ご逝去



高橋 徹哉

1995年卒業
2019年8月6日ご逝去



小笠原 敏之

1991年卒業
2019年4月11日ご逝去



阿部 喜朗

1982年卒業
2019年11月17日ご逝去



岩崎 良一

1977年卒業
2019年4月24日ご逝去



岩倉 光博

1977年卒業
2019年12月17日ご逝去



宮田 軍一

1972年卒業
2019年5月1日ご逝去



中原 安朗

1992年卒業
2019年12月20日ご逝去



諏訪 肇

1996年卒業
2019年5月26日ご逝去



竹尾 昌己

1980年卒業
2019年6月14日ご逝去



長野 一雄

1969年卒業
2019年6月10日ご逝去



木村 亨

2000年卒業
2020年1月26日ご逝去



蝦名 任

2003年卒業
2019年6月26日ご逝去



古戸 寅雄

1978年卒業
2020年6月1日ご逝去



梶川 昇

1991 年卒業
2020 年 7 月 21 日ご逝去



川田 憲秀

1983 年卒業
2021 年 11 月 1 日ご逝去



蝦名 久志

1977 年卒業
2020 年 7 月 24 日ご逝去



八若 博明

1972 年卒業
2021 年 11 月 15 日ご逝去



柏木 重則

1984 年卒業
2020 年 9 月 15 日ご逝去



成田 繁

1965 年卒業
2021 年 12 月 7 日ご逝去



岩崎 一彦

1981 年卒業
2020 年 9 月ご逝去



森 通

1989 年卒業
2021 年 12 月 15 日ご逝去



石澤 和彦

1999 年卒業
2020 年 9 月 25 日ご逝去



佐々木 孝尚

1984 年卒業
2022 年 4 月 15 日ご逝去



星野 邦夫

1982 年卒業
2021 年 1 月 22 日ご逝去



先田 一郎

1989 年卒業
2022 年 4 月 19 日ご逝去



高橋 鐵蔵

1979 年卒業
2021 年 4 月ご逝去



佐藤 英美

1989 年卒業
2022 年 5 月 27 日ご逝去



丹治 敏夫

1987 年卒業
2021 年 9 月 8 日ご逝去



清水 一広

2008 年卒業
2022 年 9 月 5 日ご逝去

編集後記

苦小牧青年会議所が創立 70 周年を迎えるにあたりまして、今日に至るまで我々の活動や運動に対し、多大なるご理解とご協力をいただきました関係諸団体の皆様、OB会員の皆様、そして、同志である各地会員会議所の皆様に深く感謝申し上げます。

記念誌を編集するにあたり、先輩諸氏が積み上げてこられた活動や運動を追体験でき、今後の苦小牧青年会議所が向かう未来への道標となる内容とすることを目指し、作成いたしました。そして、編集を進めていく過程で先輩諸氏が紡いでこられた軌跡を目の当たりにする度に、毎年度組織は違えど地域をより良くする強い想いで活動や運動を行われてきたことを学ぶことができました。しかし、長き歴史のなかで行われた膨大な事業の記録は、事業に熱心に取り組まれた方々の記憶や手元に多く散在し、それらの資料に辿りつくことは容易なことではありませんでした。単年度制を採用しながらも、継続的に運動を推進する青年会議所においては、各資料の正確な保管や容易に閲覧できる環境を構築することが不可欠であると同時に、確実な毎年度の引き継ぎを行うことが重要であると考えます。改めてこの記念誌が、未来の同志達へと引き継がれていき、苦小牧青年会議所の更なる発展とリーダーシップの開発と発展と成長の機会、ひいては持続可能な社会の実現に必要な資産になることを信じ、申し添える次第でございます。

結びとして、本誌の作成にあたりまして、多くの方からご祝辞を賜りましたこと、OB会員及び関係各所の皆様から資料提供など積極的なご協力をいただきましたこと、そして、事務局員村井祐子様のご援助に、心より感謝申し上げます。

総務部会 部会長

一 関 章 太

【発行】

2023年6月3日

一般社団法人 苦小牧青年会議所

理事長 玉川 健吾

【編集責任者】

創立70周年実行委員会

実行委員長 大西 奏介

【編集】

創立70周年実行委員会 総務部会

部会長 一 関 章太

江島 大和 北澤 真弓 瀧澤 僚貴

今井 祐太 草刈 絢那 長澤 潤也



アンケートにご協力ください。

70th
ANNIVERSARY
創立70周年記念誌
Junior Chamber International Japan
一般社団法人 苦小牧青年会議所



Take Action!!
～ココロオドル未来へ～
一般社団法人 苫小牧青年会議所